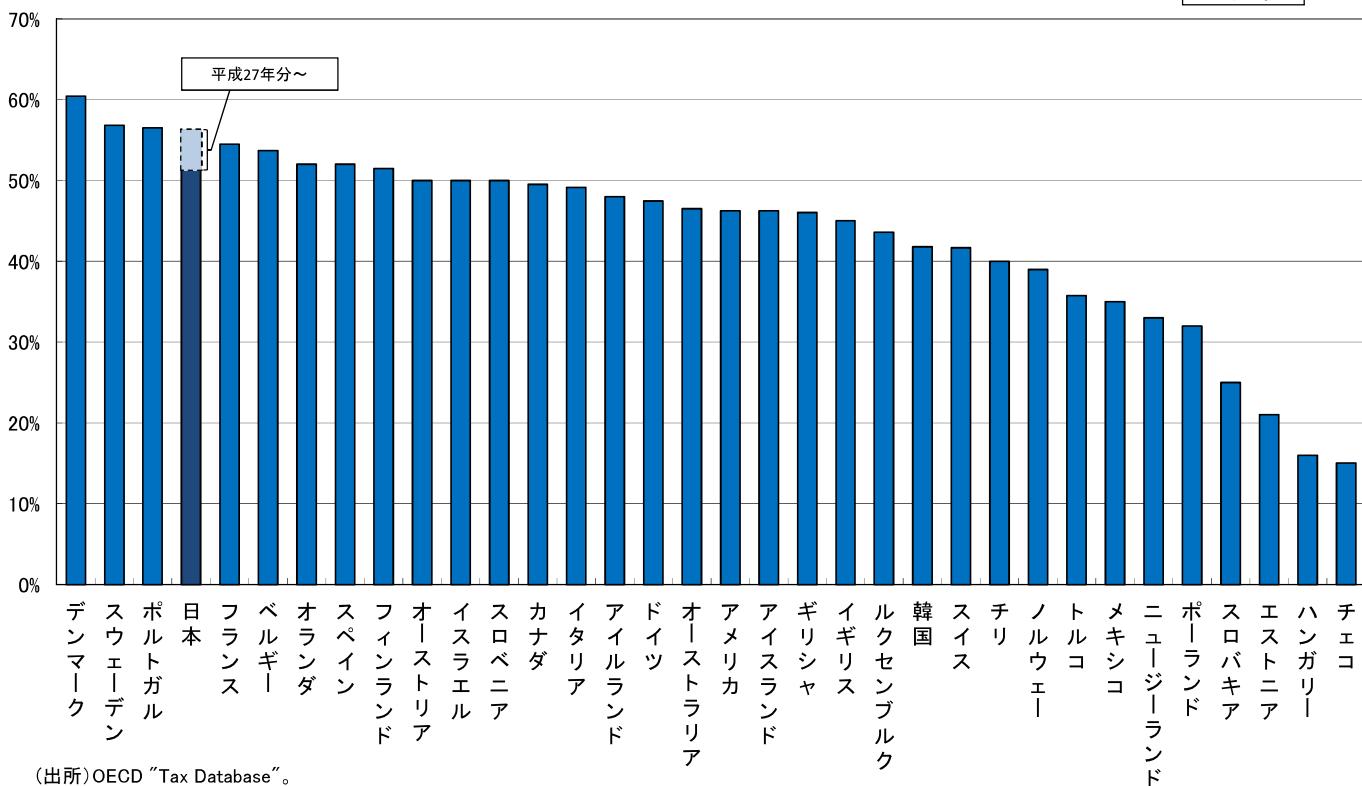


OECD諸国における個人所得課税の最高税率

資料5

未定稿



(出所)OECD "Tax Database"。

(注1)各國とも2014年1月時点の税率を記載。

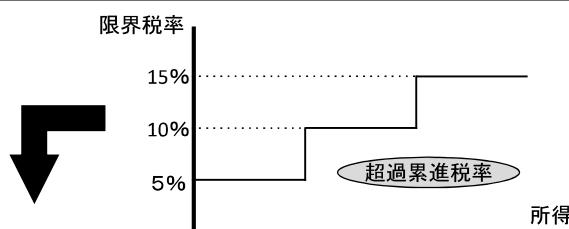
(注2)日本の個人所得課税の最高税率については、復興特別所得税(基準所得額の2.1%)を加味したもの。また、2015年分(平成27年分)からは、所得税の最高税率引上げにより55.95%となっている。

(注3)フランスにおいては一般社会税(7.5%)及びこれの負担調整のための所得控除、社会保障債務返済税(0.5%)、高額所得に対する所得課税(4%)を加味した数値となっている。

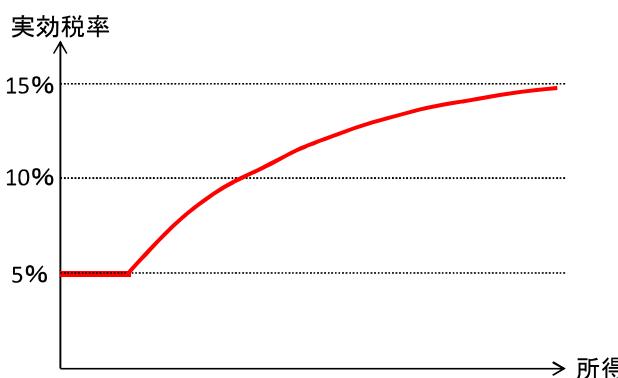
資料6

超過累進税率の下での所得控除・税額控除等の効果(イメージ)

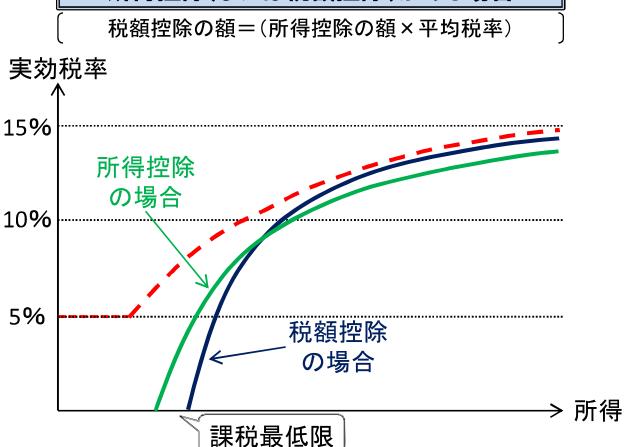
- 累進税率の下では、所得控除は、課税最低限を画するとともに、税負担の累進性を強める効果を有する。
- 所得控除の額に平均税率を乗じた額の税額控除とした場合、所得控除と比べて、課税最低限は上昇し、低所得者に対する税負担軽減効果は大きくなり、より累進的な税負担の構造となる。



控除なしで累進税率が適用される場合



所得控除(または税額控除)がある場合



※ ゼロ税率でも同様の効果を持ち得る。